

はじめに

みなさんは“在宅療養”という言葉を知っていますか？

“在宅療養”とは、住み慣れた自宅や地域で、医療や介護を受けながら療養生活を続けることをいいます。

もしご自身が医療や介護を必要とする状況になったとき、どこで、どのように過ごしたいかを考えたことはありますか？

台東区が実施した調査では、65歳以上の約6割の方が「可能であれば在宅療養を希望したい」と回答されています。

一方で、「家族に負担がかかる」、「急に症状が変わったときの対応が心配」などの理由から、在宅療養を希望していても、実際には選択することが難しいと感じている方が多いことも明らかになりました。

このハンドブックは、こうした不安や疑問を少しでも解消できるよう、在宅療養とはどのようなものなのか、在宅療養を支える医療・介護チーム、そしてご自宅で受けられる医療や介護のサービスについてわかりやすく紹介しています。

また、ご自身がどのような療養生活を送りたいか、人生の最期までどのように過ごしたいかを考え、書き留めていただける「人生会議(ACP)」のページも設けています。

年を重ねても、住み慣れた自宅や地域で、安心して自分らしく過ごせるよう、本冊子が、医療や介護が必要になったときに、「どこで」「どのように」自分らしい生活を送りたいかを考えるきっかけとなり、“在宅療養”という選択をする際の一助となれば幸いです。